

# 赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 天南星

新訂和漢薬 記載頁

599

**基源** サトイモ科テンナンショウ属 *Arisaema* sp. の根茎。  
日本産は マムシグサ (チンゼイテンナンショウ) *A. japonicum* Bl., ムサシアブミ *A. ringens* Schott.  
中国産は マイズルテンナンショウ *Heteroarisaema heterophyllum* Nak. (= *A. heterophyllum* Bl.) より採り, 或は, ヒロハテンナンショウ *A. amurense* Max., 又は *A. consanguineum* Schott 等より採る。

**部位** 根茎根茎: 煨焙[福田方], 湿紙包糖灰中炮裂[本草綱目], 剉[国医薬研].

**作用** 有大毒. 利水道 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 強陰, 下氣, 利胸肺, 散血, 墮胎 [証類本草, 本草綱目], 除痰 [証類本草, 本草綱目] (= 去痰 [満洲漢薬]), 涼心, 鎮静 [満洲漢薬].

**応用** 心痺, 積聚, 伏梁, 筋痿 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 風眩 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 満洲漢薬], 陰下湿, 結気 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 疝瘕, 腸痛, 瘀血, 麻痺, 金瘡, 折傷, 惡瘡, 蛇虫咬, 癰腫, 傷寒時疫 [証類本草, 本草綱目], 疥癬, 中風 [証類本草, 本草綱目, 満洲漢薬], 破傷風 [証類本草, 本草綱目], 驚癇, 結核 [本草綱目, 満洲漢薬], 喉痺, 解顛, 口眼喎斜, 口舌瘡 [本草綱目], 口噤身強 [本草綱目] (= 強直 [満洲漢薬]).

**処方** 清量化痰湯, 清疾除怯湯[眩暈], 三生飲, 五論湯, 摂生飲[中風], 通応散[破傷風], 奪命散 [驚疔], 清心化疾湯[癩狂].

備考